

これの神床にお鎮まり下さいます

親神天理王命の御前に

天理教本阪分教会会長 明山慶一郎

慎んで申し上げます。

親神様には、世界一れつをたすけたいとの親心から、約束の年限の到来と共に教祖をやしろと定めて、この世の表にお現れ下さり、よろづ委細の元の真実を明かされて、ぢばを定め、つとめをお教え下さり、自由の働きを見せて、世界一れつをたすける道をお啓き下さいました。以来、長の道すがらには幾重の節もお見せ頂きましたが、温かい親心にお連れ通り頂き、これのための教えは世界に伸び広がり、今日の道の栄えをお見せ頂いております御慈愛の程は、思えば思う程有難く勿体ない限りでございます。

斯かる中に、これの名称の理は初代会長 明山丑之助が姉上であり師とも仰ぐ、東本初代会長 中川与志先生が、丑之助の身の煩いを思い下され、明山家の再興を期して親孝心に励む道を諭され因縁の自覚、心の入れ替え、人たすけの道を懇々と語り明かされた、姉上様の真実話によりたすけ一条の親神様の深い思召しが心の奥にしみこむ程に身上が癒され、姉上様を親にも勝るたすけの親と信じる心が湧き出て、人を救ける人と生まれ変わる心が定まり、その後、東本初代会長様のお膝元を温ね人の二倍三倍ものお仕込みとご丹精をいただき、東に西へと本阪に繋がる先人先生方と共に、たんのうの心で親の思召しのまにまに理を立てきってお通り下さった、その元一日のおかげで、今ここに私達が結構にお連れ通り頂いている御厚恩を片時も忘れることなく通らせていただきます中に、この社会情勢の

中で紆余曲折はございましたが、初代会長が親神様にお迎えとり頂きまして八十年の年月を数えましたので、幾度の談じ合いを重ね、今日を吉き日と定めて「初代会長追慕八十年躍進の集い」を執行させて頂く運びとなりました。

本来でしたら、真柱様の身上平癒、新型コロナウイルス感染拡大の治まり、身上、事情で悩み苦しんでおられる方々の治まりを願ひ、十四交代の「おつとめ」をさせて頂く事を計画をしておりましたが、今の社会状況を鑑みて、以前からおたすけカードを通してお願いしておりましたお願いづとめを、教会長夫妻と代表者でつとめさせて頂く事となりました。本日この時に事改めて本阪の元一日と初代会長の道すがらに深く念いを致し、自らの通り方が「教祖のひながたの道」から遠ざかっていないか、天恩にお応えする道に遅れてはいないかと銘々の通りきた道をふり返ると共に、世状を通してお見せいただく姿の中に親神様・教祖の御心配と残念を思い、私達よふばくに任された重い使命を再確認して、尚も一筋に  にをいがけ・おたすけに、道の後継者の丹精に励ませて頂いて、積もり重なる御厚恩にお報い申し上げると共に、来年三月二十二日に執行されます「東本初代会長追慕百年決起の集い」のご奉公の上にも一段と真実の心を結び、「みなすすむ心」で勇躍邁進させて頂く覚悟でございます。

何卒、部内一同が、一つ心にお誓い申し上げる心定めをお受け取り下さいます。まして、至りませぬ私達一同ではございますが、この上とも幾重のお仕込みを賜りまして、たすけふしんの理の御用の上に切れ目なくお引き立て下さいますよう、一同と共に慎んでお願い申し上げます。